

令和5年度春季特別展 東日本大震災復興祈念

悠久の絆 奈良・東北のみほとけ展 報道内覧会

東日本大震災から12年目、“鎮魂と祈り”のために、奈良と東北の国宝、重要文化財を含む寺宝が宮城の地に一堂に会す展覧会及び特別講演会を開催いたします。戦火や災害からの復興の願いが込められた、仏像美術の姿を伝えるとともに、みほとけたちが発する癒しの力を感じていただきます。

つきましては、報道関係者の皆様への報道内覧会を開催いたしますので、是非取材していただき広く県民の皆様にご周知して下さるようお願いいたします。



記

1 報道関係者等の皆様を対象とした内覧会

- (1) 日 時 令和5年4月14日(金曜日)午前10時(受付:午前9時50分)から
- (2) 集合場所 東北歴史博物館1階エントランスホール
- (3) その他 当館学芸員が展示の見どころ等をご案内します。

2 新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) 発熱、咳、くしゃみなどの風邪の症状のある方、体調の優れない方は、来館をご遠慮ください。
- (2) 手指の消毒、入場の際の検温等の感染症対策にご協力をお願いいたします。

3 東日本大震災復興祈念「悠久の絆 奈良・東北のみほとけ展」

- (1) 会 期 令和5年4月15日(土曜日)～6月11日(日曜日) 開館日数50日間予定
- (2) 会 場 東北歴史博物館 特別展示室
- (3) 主 催 「絆とうほく～復興への祈り」実行委員会
(tbc東北放送、河北新報社、東北歴史博物館、多賀城市、TBSテレビ、MBSテレビ、IBC岩手放送、テレビユー福島、青森テレビ、テレビユー山形)
- (4) 総 監 修 有賀祥隆(東北大学名誉教授、東京芸術大学客員教授)
- (5) 監 修 長岡龍作(東北大学大学院文学研究科・文学部教授)
- (6) 特別協力 法隆寺、西大寺、唐招提寺
- (7) 学術協力 奈良国立博物館
- (8) 企画制作 tbc東北放送
- (9) 展示概要 展示件数60件：うち国宝12件、重要文化財27件
 - 第1章 苦難に立ち向かう ～奈良の仏像と東北の仏像～
 - 第2章 日本仏教のいしずえを築いた人
 - 第3章 叡尊・忍性の教えと美術
 - 第4章 心の復興へ 奈良仏教の教えと救済
 - 第5章 奈良仏教と未来への営み

F A X 返信状

東北歴史博物館情報サービス班行き

F A X : 0 2 2 - 3 6 8 - 0 1 0 3

※出席希望の場合は、こちらの用紙にご記入の上、4月13日(木曜日)正午までにFAXまたはメールにてご返信ください。

悠久の絆 奈良・東北のみほとけ展

報道内覧会申込書

■日 時 : 令和5年4月14日(金曜日)午前10時～正午

(受付開始午前9時50分、最終入場午前11時30分)

■会 場 : 東北歴史博物館(宮城県多賀城市高崎1-22-1) ※1階エントランスにて受付

報道内覧会に出席します。

※展示室内ではフラッシュ等の使用はできません。予めご了承ください。

※当日のご取材、撮影に関しましては、当日提示される、注意事項をお守りください。

撮影	<input type="checkbox"/> 希望する (<input type="checkbox"/> V T R : 名 <input type="checkbox"/> スチール : 名) <input type="checkbox"/> 希望しない
貴社名	
お名前	(同伴者含め) 計 名
TEL	TEL :

—この件に関するお問合せ先—

東北歴史博物館情報サービス班 担当 : 小野寺

 **東北歴史博物館**
TOHOKU HISTORY MUSEUM

TEL : 022-368-0106 Fax : 022-368-0103 E-mail: thm-service@pref.miyagi.lg.jp